

## 第157回 運輸の日

神奈川県連、第157回運輸の日を東神トラックステーションにて10時から行いました。

天候も秋らしく活動しやすい1日でした。

行動者は県央地区連絡協議会の精鋭4名で行動しました。

今回も、運輸労連パンフレットとグッズの配布、アンケート調査では高速道路速度制限緩和に関する賛否を聞きました。

ドライバーさん方々は皆、安全性を考え速度の緩和には反対と言っていました。

地道な神奈川県連独自の運輸の日をこれからも継続して取り組んでいきます。



記事)今井 勇



### 【行動者の感想】

第157回運輸の日に参加させていただきました。

今回は教宣物配布とともに『大型車の高速道路100キロに賛成 or 反対』のアンケートをとりました。

結論から言えば10名(少なくともすみません)にお聞きして全員が反対とのことでした。ただ、ほとんどのドライバーさんが関東近郊であったことから、自身に大きく影響する問題と捉えていない雰囲気もありました。その中でお一人、なにわナンバーのドライバーさんは「もう、今さら命のやり取りをするような走り方はでけへんし、したあ~ない」と仰っていたのは印象適でした。

旗町達哉(ヤマトボックスチャーター労働組合)

トラックドライバーの皆さんから 2024 問題や 80km 規制等について、生の声をたくさん聞くことができ大変有意義な日となりました。日差しが照りつける中にも関わらず、皆さん快く対応して頂き感謝感激でした。お伺いできたお話を今後の活動に活かしていきたいと思えます。参加させて頂きありがとうございました。

橋本裕之(全日通労働組合神奈川支部)

久しぶりのトラステでの、アンケート色々な方と、お話しさせて頂きました。仕事は切れないが、仲介屋さんのピンはねが大きく、自分に見返りが少ない方、荷主さんから何時に積みに来てくれと言われて何が、早いと言われたが、待機場所が無くて、近所を数時間うろうろしていたとか、ドライバーさんは、やはり見くだされているようでした。高速のスピードは、100 キロになったら、出してしまうので、危険という意見が多数でした。問題山積みの、ドライバーさん達ですが、なるようになるさって、みなさん笑顔の方々でした。

高橋浩之(ヤマト運輸労働組合厚木支部)

